

第4期京都市食の安全安心推進計画策定に係る第2回部会

1 開催日時

令和7年8月25日（月） 午前10時から午前11時30分まで

2 開催場所

京都市役所 本庁舎1階 第1会議室

3 出席者（敬称略）

委員6人、事務局4人

部会長 谷 史人

副部長 岡田 博史

委員 下田 唯

〃 土田 美咲

〃 山本 芳華

〃 横山 長尚

保健福祉局医療衛生担当部長

南 秀明

〃 医療衛生推進室医療衛生企画課食品安全担当課長

西原 和美

〃

食品安全係長

西上 祐子

〃

食品安全担当

岡田 有紀

4 次第

(1) 開会

(2) 京都市挨拶

(3) 議事

ア 第4期推進計画の体系

イ 第4期推進計画の個別施策

(4) 閉会

5 会議録

(1) 第4期推進計画の体系

資料1～4ページにより事務局から説明を行い、以下のとおり御意見をいただいた。

○委員

今の説明に対して意見をいただく前に質問があればお尋ねいただきたい。

○委員一同

特になし。

●事務局

第1回部会で御説明している内容であり、前回部会での意見を踏まえて変更した部分について議論いただきたい。

○委員

資料に質問がないようなので、委員の皆様から意見をお願いしたい。

○委員

2、3ページについて、修正したことで、京都市が取り組んでいること、保健福祉局が主で取り組んでいることが分かりやすくなった。2ページについて、第3期推進計画では、リーディング事業として、象徴的な施策、保健福祉局が主とする施策に星印を付けていたが、どこの部局がやっているかは書いてなかった。第4期推進計画では、部局名を明記しているが、市役所の中の

体制も変わってきている中で、今はどのような書きぶりにするのが普通なのか。明記する方が主流になっているのであれば、その方がいいと思うが、その辺りが分からない。それ以外は分かりやすく、見やすくなった。リーディング事業は指標を設定する前提になるわけだが、その書きぶりをどうするつもりでいるのか。また、色々な施策との関係性としてここに当てはまる、基本構想のここにぶら下がる等、全体の位置付けについてはどのようにするのか。ページ数が少なくなっているため、そこまでは不要としているのか。基本的に反対はないが、疑問である。

●事務局

京都市全体の施策の中での位置付けについては、本日紹介させていただくが、京都市では京都基本構想（仮称）についてパブリックコメントを行ったところである。この京都市の基軸となる基本方針が固まった中で、この食の安全安心推進計画がどういう位置付けになるのか定まる。従って、今回はそこが固まっていないため、お示ししていないということを御理解いただきたい。

基本的なものとしては大きく変わるものではないと考えている。京都基本構想（仮称）に係る議論では、基本計画は作成せずに現行の京都市基本構想と統合される方向であり、推進計画は京都基本構想（仮称）の分野別計画という位置付けになるのではと考えている。第3期推進計画に記載していたような「推進計画の位置付け」はタイミング的にお示しできていないだけで第4期推進計画にも記載する予定である。今後、推進計画（案）作成のタイミングでお示ししたい。

各部局の施策については、どのように記載すればいいのか、マストなものはないので、逆に皆様から意見をいただきたい。

●事務局

補足させていただくと、前回、委員からの意見で2ページ目に括弧書きで所轄する部局名を追記した。3ページ目の全体像は委員からの意見を踏まえて修正した。この修正内容について、改めて部会として検討いただきたい。

○委員

2ページのところで委員がおっしゃったように部局名を入れるのであれば、例えば、子ども若者はぐくみ局、教育委員会と連携、協同のようになると、投げ切っているのではなく、こちらにも紐づいていることが分かる。

○委員

見やすさというところで、せつかくであれば、保健福祉局以外の部局名を入れるよう申し上げたが、市民の皆様にとって見やすければ構わない。絶対に入れなければならないかと言われればそうではないが、入れるとどこの部署が取り組んでいるかが分かる。

○委員

2、3ページを分かりやすくしようと思うと、文字数を少なくすればいいかもしれないが、前回の意見を反映した形で部局名を入れてもらっている。委員の意見であれば、連携を入れるということか。

○委員

連携という言葉を入れるよりも、混合されるため、もう少し文字を小さくして控えめにしてもいいと思う。

●事務局

ゴシック体をやめてはどうか。

○委員

文字を細目にするといいと思う。どこが取り組んでいるかも分かる。

○委員

3 ページについては、前回の図より見やすくなった。

○委員

これでいいと思うが、メインは保健福祉局であるが、他部局も取り組んでいるので、書き方について他部局から意見は出ていないのか。第3期計画では、個別施策にどこが担当か記載していたが、これは今回も載せる形になるのか。第3期計画の方が、個別の施策はどの部局が取り組んでいるか分かりやすい感じはする。

●事務局

他部局の個別施策については、この後の個別施策に関する議題の中で説明させていただく。計画を策定するに当たり、他部局に取組は照会しているが、この体系図については他部局に照会をかけられる状態ではないため、まだ照会はしていないが、策定までには照会する。

○委員

2 ページにおいて、今回、3つの新規の施策を赤字で星印を付けているが、第3期計画では星印はリーディング事業として象徴的な施策としていたが、新規とリーディング事業は別であるか。

●事務局

今回、特段リーディング事業という形で示していない。星印は新たな施策であるが、新規で取り組むということは、大事な事業という認識ではあるが、以前のようなリーディング事業という形ではない。

○委員

リーディング事業は指標が設定されている事業ということではなかったか。

●事務局

リーディング事業は保健福祉局がメインで取り組んでいる事業であることから指標を設定しやすいということはあるが、必ずしもリーディング事業にのみ指標を設定しているということではない。今回はリーディング事業かどうかという書き方ではなく、新しい施策に星印を付けた書き方となっている。

○委員

2 ページのアンダーラインが引いている事業は何か違いがあるのか。

●事務局

アンダーラインは保健福祉局単独の施策である。

○委員

下線部について説明は入れるのか。

●事務局

部会では分かりやすくするために下線を引いたが、最終計画案では下線は不要かと考えている。

○委員

指標について、第3期計画に引き続き、「食の安全安心情報の受け手の人数」を10万人以上としているが、講習会やイベントの参加者とホームページやSNSを閲覧しただけの人では、情報の質や量が異なるため、分けて目標を設定する方が分かりやすいのではないか。

●事務局

補足させていただくと、講習会やイベントの参加者数というのは毎年の監視指導結果の中で示している。推進計画では広い視野をもって目標を設定しているため、全体を合わせた目標値とし

た経過があり、これを踏まえたうえで議論いただきたい。

○委員

ずっと10万人以上という目標値を達成できているため、それを変えるのはどうかというものもある。また、監視指導結果では講習会やリスクコミュニケーション等、すべて人数が示されている。重みが違うというのはその通りであるが、コロナもあって、対面では講習会等を実施できない中でどのように啓発していくか苦心した結果であったかと思う。

○委員

計画を立てる際の大枠の指標としては一括して記載していてもいいか。

○委員

構わない。

●事務局

指標に関しては第1回部会で御意見はなかったため、特に変更はしていない。

○委員

指標はこのままとする。他に意見はあるか。

○委員一同

特になし

○委員

意見をまとめると、2ページ目については、他部局の施策は、連携という意味を含んで、部局名は残すが、フォントを細目のものに変えるという形で修正していく。3ページ目は分かりやすく修正されているため、更なる修正はない。文字が詰まっていないため、分かりやすく、ここのフォントは変えない。4ページ目は委員から「食の安全安心情報の受け手の人数」について業績を考えて指標を分けるという意見も出たが、推進計画として大きく指標を掲げるという中で、監視指導結果において実績が示されるため、ここではまとめた形とする。1つ目の体系については、第1回部会における意見を踏まえて修正されたものに対する軽微な変更であり、修正したものを確認していくことでいいか。

○委員一同

異議なし。

○委員

では、そのような形で進める。

(2) 第4期推進計画の個別施策について

資料5～11ページにより事務局から説明を行い、以下のとおり御意見をいただいた。

○委員

まずは事務局からの説明と資料について何か質問はあるか。

○委員

この資料が冊子になるという考えでよかったか。

●事務局

資料は計画冊子を意識して作成しているが、写真を挿入したり、追加したりするところはある。個別施策の説明を確認いただきたい。

○委員

質問はないか。

○委員一同

特になし。

○委員

それでは、個別施策に関して意見をお願いしたい。

○委員

書き方について、例えば、基本施策で保健福祉局が主で取り組むことが枠線で囲まれており、6ページの外国人従業員の衛生管理は新規になるが、これは黒丸になっているものを新規と書いたり、赤文字にしたりするのか。

●事務局

強調した方がいいという御意見であるか。

○委員

新規施策は強調した方がよいという意見である。11ページの基本施策5において、食育及び環境施策の連携について、保健福祉局と環境政策局と連携しているが、これは保健福祉局の取組だが、枠線は不要か。

●事務局

保健福祉局の中ではあるが、食育の担当は、衛生の担当とは別のところになるため、分けている。

○委員

承知した。

○委員

11ページの連携部局で教育委員会が書かれていないのは何かあるのか。

●事務局

主となっているのは食育を担当する保健福祉局であり、教育委員会は食育担当の部局に協力している形になるため、教育委員会は記載していない。

○委員

読む人目線になると、冊子は1ページずつめくっていくため、最初のフォーマットを踏襲した方がよい。最初の施策の体系で、新しい施策には星マークを付けるのであれば、その後の個別施策のところでも星マークを付けるとか、関係部局で教育委員会もあるのであれば、個別施策でも同じように書いた方がよい。同じことであると分かりやすい方がよい。

○委員

教育委員会は体系で記載されていたか。

●事務局

訂正させていただくと、2ページの施策の体系で、柱2の一番下の食育及び環境施策と連携した取組のところでは教育委員会等は書いておらず、保健福祉局と環境政策局という書き方にさせていただいている。3ページの全体を図式化したところで、食育と連携した取組に子ども若者はぐくみ局と教育委員会と書いているが、これは保健福祉局の間違いであるため、この部分を修正させていただく。

○委員

3ページにおいて、「給食衛生管理」も「自主的な衛生管理を基本とした給食対策」に変える

と、文字は長くなるが、全部繋がっているということで見やすくなるのではないかと。できるだけ短くコンパクトに記載しているため、すっきり見えているが、文言を揃えた方が、繋がりが分かりやすくなるのではないかと。

●事務局

委員がおっしゃるように文字を全部入れると見にくさが生じるため、整理した部分はあるが、一貫していた方が分かりやすいと思うため、修正する方向で対応する。さらに見やすさは追及していきたい。

○委員

2 ページで委員がおっしゃったところで部局名を入れているが、フォントを小さくして基本施策の内容が目立つようにするとすっきりするのではないかと。

○委員

体系や表や説明文でどのように対応しているのか分かりやすくするというところである。書き方而言えば、第3期推進計画では施策に番号を付けていた。番号を付けておけば、見やすくなるかもしれない。

○委員

番号を付けるのは非常によいと思うが、2、3 ページを番号で対応させるのはなかなか難しいのではないかと。3 ページは2 ページの個別施策をより細かくしたイメージになるのか。そこから番号を選んで付ければいいのかもしいが、若干の混乱はありそうである。

●事務局

委員のおっしゃるように混乱を避けるために番号を付けなかった部分はある。関係部局の施策を区別する中で、一貫して番号を付けてしまうと区別化が難しい。今回、フォントを下げて、番号を付けると同列に見えてしまう。番号はこのような意図で抜いているが、どちらがよいか、番号があったほうがよいということであれば、同列に見えないような書き方について意見をいただきたい。

○委員

番号を付けると紛らわしく誤解を生むようであれば撤回する。

○委員

確かに3 ページの図の中に連動していないものが入ってきているため難しいのかもしれないが、3 ページの図には番号を付けなくても、通し番号を付けるのはありかもしれない。個別施策のところは番号を付けると見やすいのではないかと。色分けするのはどうかとも考えたが今すぐによい案が出てこない。

○委員

個別施策の記載内容は問題ないかと。新規の施策や保健福祉局が主となる施策、関連部局の施策の区分け等はできていると思う。

○委員

関連部局と連携した取組は囲う等しないのか。カラーをあまり使わないのであればいいのだが、カラーにすることで華やかになる。

○委員

保健福祉局が主となる施策は囲っていて分かりやすい。内容については修正する内容はなさそうである。

●事務局

2 ページ目の個別施策の1つ1つに番号を付けると、後ろの個別施策で探せるということであるが、例えば、基本施策の後ろに括弧書きで後述の何ページから何ページとページ数を入れておけば、後ろで探すこともできると考える。

○委員

よい提案だと思う。

○委員

今回はリーディング事業を設けないのか。

●事務局

第4期推進計画ではリーディング事業として設定はしない予定であるが、星印は新規事業であることを示す。社会情勢を見て今回加えた施策であるため、重要な施策であることは分かるように示す。

○委員

2 ページにおいて、保健福祉局の施策と比べて、他の部局の施策は小さく書くのか。

●事務局

今回、御意見いただいたのはそのような内容と理解している。他部局と連携の部分は少し抑えて書くように修正する。

○委員

番号はない方がいいと思っている。なぜかと言うと番号をふった順に重要な施策であるように思われてしまうのではないか。それであれば、先ほど提案があったようにページ数を書く方がいいと思う。

○委員

印刷で冊子を作るのか。

●事務局

作る。

○委員

それであれば、写真やイラストが入る、色が付く等、見やすくアレンジされると思うため、それに期待する。

○委員

個別施策の方も基本的な大枠については問題ないが、2 ページの体系で後述のどこに書かれているかページ数を明記するという事でまとめてもいいか。特に意見はないか。

○委員一同

異議なし。

○委員

部会で原案を作ることになっているので、同意いただけるのであれば、その方向で進めることとする。2つの議題について、大枠は問題がないということであるが、冊子になった際に分かりやすくまとめられるよういくつか軽微な修正はある。第3回部会は予定していたが、大枠はこれでいいということであるため、軽微な修正点が直っているかは、委員の皆様がよろしければ、私と事務局でチェックして進めてもいいか。

○委員一同

異議なし。

○委員

9月に第3回部会が予定されていたが、第2回部会までで体系と個別施策について皆様の意見がまとめられたので、個別の修正は私と事務局に一任いただくという形で、部会をしめさせていただきます。よろしいか。

○委員一同

異議なし。

○委員

ここで、事務局から京都基本構想（仮称）について報告があるということなので、説明をお願いします。

(3) 「京都基本構想（仮称）」（案）について

資料「京都基本構想（仮称）」（案）により事務局から説明を行った。

○委員

皆様、よろしいか。

○委員一同

特になし。

○委員

第1回部会、第2回部会で次の第4期推進計画の体系と指標の設定、個別施策について一通り議論いただいた。本日もいくつか御意見をいただいたが、いずれも軽微なものであるため、それについては部会長である私と事務局の方で確認する。部会としては委員の皆様から意見をいただき、議論を尽くしたかと思うため、今後のスケジュールとしては、部会案について、10月～11月の第42回審議会で中間報告を行う。スケジュールについてはこれでいいか。

○委員一同

異議なし。

○委員

その後、パブリックコメントを実施して、12月に第43回審議会を開催して、1月に市長に答申させていただく形になる。全体を通して何か御意見御質問はあるか。

○委員一同

特になし。

○委員

それでは、部会はこれで終了とする。感謝する。

(以上)